## 魚の"旬"をお知らせします!

# 魚市場水揚げ通信

# 石巻魚市場編

宮城県東部地方振興事務所水産漁港部 「みやぎ水産の日」PR広報紙 vol.37(1)

(平成30年9月25日発行)

8月号



### マイワシ,サバを中心に水揚げが見られました

取材の当日は、低気圧の発生により、底びき網は休漁となったため、定置網と刺網主体の水揚げとなりました。魚市場職員によりますと、今年は、台風や低気圧の発生が多いため、漁に出られず、魚市場への水揚げ金額も億単位で減少しているとのことでした。

今回水揚げの主体となった定置網では、潮の流れが早いため網起ができない網もありましたが、水揚げされた魚種はマイワシとサバを中心に、イナダなどが見られました。

9月からは沖合底びき網も出漁します。今後の天候回復に期待したいところです。





9月1日からの操業に向け、岸壁で準備中の沖合底びき網漁船

## 定置網

金華山周辺の定置網では、小~中羽のマイワシを主体に水揚げがありました、中羽の割合は4割程度で、サイズも40gで見た目も太っています。

イナダは2.5~1.5kgサイズを主体に水揚げがありました。イナダは魚市場の単価では、133~100円/kgと安価です。魚市場職員によりますと、石巻ではこのサイズのイナダを食べる習慣がないので、おいしく食べられる調理法が広まれば、利用価値も上がるのではと話していました。



マイワシ

今回水揚げした定置網はこちらです。魚市場では、黒板に定置網ごとの水揚げ数量と魚種、魚市場への到着時間が掲載されます。



イナダ



金華山周辺定置網配置図(参考)

## 沿岸物

魚市場の西側は沿岸の鮮魚と活 魚を取り扱っています。最も数量 が多いのはガザミでした。当日は、 10個の大型タンクに分けられ入 札が行われていました。震災前に は見られなかった光景です。宮城 県は震災以降、全国一のガザミ水 揚げ県となりました。

活魚業者によりますと、ガザミの 資源が増えたことにより、ガザミを 捕獲する漁業者数も増えていると のことで、沿岸漁業者の貴重な収 入源となっているようです。

また. 今シーズンのサケが水揚 げされていました。当日は銀色を した雄1尾のみでしたが、今秋から、 水揚げ数量が増加していきます。 今期のサケの来遊予測は不漁で あった昨年を上回るとしております が. いずれも震災以前に比較し. 低水準です。サケ稚魚を育てる内 水面サケふ化団体は、サケ種卵 の確保や健苗放流など懸命な努 力を行っています。



全国一の水揚げ量となったガザミ



今シーズン2回目に水揚げされたサケ



大型タンクに入ったガザミ



高級魚の天然ホシガレイ



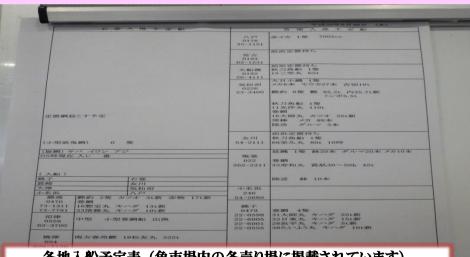
津軽海峡を通過し南下したサワラ



今シーズン終盤となる3年子のホヤ

魚市場内には、八戸から焼津 までの東北. 関東地域にある魚 市場の入船と主な水揚げ数量を 記載した当日の入船予定表が掲 載されています。

当日の石巻魚市場は時化で入 船が少なかったのですが、表を 見ますと、改めて石巻魚市場の 扱う魚種と数量の多さを感じるこ とができます。



各地入船予定表(魚市場内の各売り場に掲載されています)

#### 編集後記

平成28年度から毎月行っている魚市場通信も、今年で3年目となりましたので、この 魚市場通信に対する感想を、魚市場の幹部職員に聞いてみました。職員からは、「この 魚市場通信の情報は魚市場内でも共有しています。できれば、水揚げだけではなく、魚 市場業務を幅広く取材して頂き、この業界を支えている様子を知らせて欲しい。この情報 により, 水揚げ状況以外にも魚市場や買受人の業務に興味を持ってもらい, 業界に必要 な人材の確保にも繋げたい」とのお話しをいただきました。

今回のご意見を, 今後の魚市場通信のあり方の参考にしたいと思っています。(K.O)

#### [お問合せ先]

宮城県東部地方振興事務所 水産漁港部

TEL: 0225-95-7914, 1473